

福島県会津エリアにおける電源接続案件募集プロセス説明会の質疑応答について(2017年11月10日)

説明会において、受領したご意見・質問等と回答となります。
募集プロセスに関連したもののみ掲載しております。

項番	意見・質問等	回答
1	募集プロセスの応募申込みの際に提出する接続検討申込書においては、単独連系における接続検討申込み同様の内容で技術検討資料を提出する必要があるか。	単独連系における接続検討申込み同様の内容で技術検討資料をご提出いただく必要があります。ただし、仕様書等、詳細な技術書類の準備が応募申込み期日までに間に合わない場合、あらかじめ当社受付窓口へご相談くださいませうお願いいたします。
2	会津エリア募集プロセスにおいては、入札が不調となった場合の工事規模縮小は想定しているのか。	会津エリアにおける入札対象工事（154kV第二福島線の増強工事）は最小規模の工事であることから、これ以上の工事規模縮小はありません。なお、募集プロセスの一般的なルールとして、入札の成立条件を満たさなかった場合には工事規模縮小を検討することとなります。
3	募集プロセス応募に係るスケジュールが短期間であるが、後から参加することは可能なのか。	募集プロセスに応募されていない場合、後から募集プロセスに参加することはできませんが、募集プロセス完了後に単独連系として系統連系申込みを行なうことは可能です。
4	説明があった「想定潮流の合理化」について現時点での検討はどこまで行われているか。	想定潮流の合理化の適用についてはH30年度早期の適用することとしており、詳細について広域機関で設置している広域系統整備委員会にて審議中です。なお、広域機関HPにて資料等を公開しておりますのでご確認いただき、ご不明な点はお問合せフォームへご連絡ください。
5	募集プロセスにおける入札が成立した後に辞退者が現れ、系統増強工事を行なった後に接続枠に空きが生じている場合の系統連系申込みについてはどのような形となるか。	募集プロセス完了後に、系統増強工事により生じた空容量の範囲内で、単独連系を前提として接続検討申込みおよび系統連系申込みをしていただくこととなります。
6	接続検討料の振込期限日（平成29年12月1日（金））までに時間がなく、期限日までの振込みが困難となる場合が想定されるが救済措置はあるか。	接続検討料の請求書発行には時間を要するため、可能な限り速やかに応募申込み手続きをお願いいたします。なお、期限日までの振込みが困難である場合は、あらかじめ当社受付窓口へご相談いただきますようお願いいたします。
7	入札が不成立となった場合、入札時における順位を引き継いで優先的に今後の系統連系手続きを進めることができるのか。	入札条件を満たさない場合で、事業者による追加負担が不可能な場合は、募集プロセスは不成立として完了します。その場合、入札対象工事の対象設備に空容量がある場合は、その範囲内の系統連系順位の入札者を系統連系可能とします。一方、空容量がない場合は、入札時における順位は全て無効となります。その後の系統連系を希望する場合は、単独連系を前提として申込みをいただくこととなります。
8	応募申込み時における接続検討申込書提出について、受付窓口からの不備確認連絡までにどれくらい期間を要する見込みか。	書類不備の確認については一週間程度時間をいただきたいことから、早期に接続検討申込みに関する様式・資料をご準備いただき、当社受付窓口へご提出くださいますようお願いいたします。なお、必要な提出書類等、不明な点がある場合は当社受付窓口へ早期にご相談くださいますようお願いいたします。
9	募集プロセス完了後の工事費負担金の支払いに関してはどのようなスケジュールとなるのか。	会津エリアの募集プロセスに関して、現時点では平成30年8月頃の完了を見込んでおります。その後、優先系統連系希望者となった事業者様から系統連系申込みをいただき、標準検討期間6ヶ月の間に技術検討を完了した場合を想定すると、最短で平成31年2月頃に工事費負担金の請求を行なうことができると見込んでおります。ただし、本例はスケジュール通りに進んだ場合のものであり、募集プロセスの進行に遅れが生じた場合は、この限りではないことについてご理解ください。
10	工事費負担金の支払いは一括払いとなるのか。	工事費負担金は原則一括払いをお願いいたします。